

くすりのしおり

内服剤

2023年01月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

製品名：デジレル錠 50

主成分：トラゾドン塩酸塩 (Trazodone hydrochloride)

剤形：白色の錠剤、直径 7.1mm、厚さ 3.5mm

シート記載など：Desyrel 50、デジレル 50、デジレル 50mg、U 042、50



この薬の作用と効果について

セロトニンの再取り込み阻害作用を示し、抗不安・鎮静作用により、ゆううつな気持ちや落ち込んでいる気分をやわらげます。

通常、うつ病・うつ状態の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。心筋梗塞回復初期および心疾患またはその既往、緑内障、排尿困難、眼内圧亢進、てんかんなどのけいれん性疾患またはその既往、躁うつ病、脳の器質障害または統合失調症の素因、衝動性の高い併存障害、自殺念慮または自殺企図の既往、自殺念慮がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は主成分として 1 日 75～100mg を初期用量とし、1 日 200mg まで増量し、1～数回に分けて服用しますが、年齢・症状により適宜増減されます。本剤は 1 錠中に主成分として 50mg を含みます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・服用量の急激な減少、服用中止により、離脱症状（吐き気、頭痛、けん怠感、不安、睡眠障害など）があらわれることがあります。この薬の服用を中止する場合には、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に通常に服用する時間が近い場合は飲まずに、次の服用時間から 1 回分を飲んでください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。眠気、吐き気、めまい、動悸、気を失う、持続性勃起、息が止まる、けいれん、立ちくらみ、ふらふらするなどの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。他の薬を併用している場合で、死亡例が報告されています。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・眠くなったり、注意力・集中力・反射運動能力などが低下することがありますので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は避けてください。
- ・うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更したときに、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがありますので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができないなどの症状があらわれることがあります。また、因果関係は明らかではありませんが、病状の悪化、死んでしまいたいと感じたり、他人を傷つけるなどが報告されていますので、このような症状に気がついた場合には服用を止めないで、医師に相談してください。
- ・めまい、動悸、気を失う、胸の不快感、脈がとぶなどの症状があらわれることがあるので、定期的に心電図検査が行われることがあります。
- ・無顆粒球症（突然の高熱、寒気、喉の痛み）があらわれることがあるので、血液検査などが行われることがあります。
- ・この薬を飲んでいるときは、お酒などのアルコール類を飲まないようにしてください。
- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬に影響しますので、控えてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眠気、めまい・ふらつき、口渇、便秘、浮腫、発疹、かゆみ、まぶたのかゆみなどが報

告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・胸痛、動悸、胸部の不快感 [QT 延長、心室頻拍 (torsades de pointes を含む)、心室細動、心室性期外収縮]
- ・発熱、じっとして黙り込む、筋肉のこわばり [悪性症候群]
- ・錯乱、発汗、手足の震え [セロトニン症候群]
- ・食欲不振、吐き気、便秘 [麻痺性イレウス]
- ・性欲に関わらず性器の勃起が痛みをともない持続的に起こる [持続性勃起]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。
- ・[ご家族の方へ] 自殺、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すなどの行動の変化やうつ症状などの元々ある病気が悪化することがありますので、その危険性について十分に理解できるまで医師から説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には医師に連絡してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。